

平成 30 年度行政評価委員会 議事要旨

会 議 名	葛飾区行政評価委員会 第 1 回全体会
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 4 日 (水) 午後 2 時から 4 時まで
開 催 場 所	葛飾区役所新館 5 階 庁議室
出 席 者	【委員 14 人】 大石会長、小松原委員、江川委員、大山委員、折登委員、 西山委員、村上委員、大畑委員、安藤委員、上村委員、 佐藤委員、篠崎委員、谷本委員、千田委員 【区側 11 人】 区長、事務局 (政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員 8 人)

会議概要

1 開会

2 委員委嘱

(区長より各委員に行政評価委員会委員を委嘱)

3 区長挨拶

行政評価委員会は平成 14 年度にスタートし、今年度で 17 年目を迎えた。

これまで委員会においては、行政改革の視点から、区の職員数や事業の無駄についてご議論をいただくとともに、時代背景が変わっていく中で、いかにサービスの質を向上させ、事業を効率的に実施していくのかという視点から、幅広くご意見をいただいていた。

この間、区としても、事業の委託や作業の機械化等による事務の効率化を進め、その分、職員の窓口対応が丁寧に行えるよう、サービスの向上に向けて努めてきた。しかし、区民の皆様目で見えていただく、あたためて気づくことも多く、さらなる改善につなげることができると考えているため、皆様には是非、忌憚のないご意見をいただきたい。

今年度、評価していただく事業は 6 事務事業ではあるが、行政評価委員会でのご意見や評価結果は、6 事務事業のみならず、区が実施している 1,000 弱の事務事業の見直しにつながると考えている。是非、闊達なご議論をいただきたい。

4 要綱説明

(事務局より葛飾区行政評価委員会設置要綱について説明)

5 会長挨拶

6 委員紹介

(会長より委員の名前、選出区分、所属分科会の紹介、政策経営部長挨拶、事務局職員紹介)

7 行政評価委員会の運営方法について

(会議の公開、会議の記録の公開、委員の名簿の公開、他の分科会の審議への関与方法、今後の日程について)

8 行政評価委員会の概要について

(事務局より行政評価委員会の概要について説明した後、質疑応答)

- A 委員：資料4-②「行政評価委員会評価表」の今後の方向性の、評価の視点の欄に①方向性、②実施内容、③実施方法のいずれかの数字が入っているが、例えば②が入っていた場合、実施内容についてしか評価することができないのか。

事務局：所管課が課題を抱えていると考えていて、特に評価していただきたいと考えているのが②実施内容であるということである。委員の皆様には、実施内容だけでなく、お気づきになったことについては、是非ご意見をいただきたい。

- B 委員：本日配付された資料のほかに、事業の評価に必要と考える書類があった場合は、事務局に請求してもよいか。

費用対効果について検討するためにも、評価表にある決算だけでなく、予算についても併せて出してほしい。

また、過去3年分の行政評価の結果と、これまで各所管で実施してきた改善策についても、委員会で重複した改善策を提案しても意味がないので、資料を出してほしい。

事務局：お話のあった資料については検討する。

今後、分科会の中で、事業の評価に必要と思われる資料がある場合はお話をいただければと思う。提供方法については、検討させていただきたい。

- B 委員：本日配付のあった資料についても、今後はできるだけ早めに提供してほしい。

大石会長：事業の評価は来週から始まる分科会で行っていくので、本日の資料配付は、事務局としては皆様にできる限り早く資料をお渡しするという意識で用意したものと認識している。

C 委員：資料の中から、行政の声が聞こえてこない。こういうことがやりたいなど、行政側にも希望があると思う。行政の思いを聴くことができれば、評価の仕方があると思う。

大石会長：我々も、行政の思いを引き出せるように議論を深めていければと思う。

事務局：事務事業ヒアリングの際に、所管課から思いをしっかりとお伝えしたうえで、皆様からご意見をいただけるようにしていきたいと考えている。

D 委員：今回評価対象となった6事務事業については、分科会の中で選定された背景について説明があるのか。

事務局：昨年度の行政評価委員の皆様アンケートでご意見をいただき、評価したほうがよいという意見が多かったものをベースとして、所管課が特に課題を抱えていると考えている事業を選定した。

D 委員：我々の立場として、どこまで評価ができるのだろうかという思いがある。C委員がおっしゃったように、行政の思いはどこにあるのか、この事業が選ばれた背景はなんなのかということについて、分科会の中で明らかになれば、評価の仕方が変わってくるのではないかと思う。

大石会長：ご不明な点については、各分科会において実際に事務事業評価を行う中で、その都度ご説明をいただきながら進めていきたい。

9 分科会別打ち合わせ

(分科会ごとに分かれて、自己紹介と日程の確認)

10 その他

(事務局より事務連絡)

11 閉会